

---

# Fate Color

猫柱

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

Fate Color

### 【コード】

N0540V

### 【作者名】

猫柱

### 【あらすじ】

偉大なる警視總監の息子、栄羽・玲羽の残酷な悲劇の始まり。

彼等の手の中の拳銃が撃ち抜いたものは・・・

## 兄弟と運命（前書き）

初めまして。猫柱にゃんちゅうと申します。

この小説は完全なフィクションです。  
シリ阿斯・死ネタ・弱グロが含まれております。

## 兄弟と運命

僕等の父さんは偉大なる警視總監であった。

父さんは、拳銃の腕前が良く、犯人を殺さないように撃てた。狙った部分に必ず撃てた。

「英雄」と称されたほどだった。

僕等はその英雄のもとに生まれた仲の良い兄弟。兄・国柱栄羽コクシンエイウ 弟の僕・国柱玲羽コクシンレイウ 年は3つはなれている。

兄は父さんをとても尊敬している。「父さんのようになりたい。」と父さんに拳銃や体技を習っていた。

それは僕が14歳の夏だった。

今日も練習場から銃声がきこえる。兄さんだ。僕は兄さんの所へ行って、黙って練習を眺める。何事にも真つ直ぐ真剣に取り組む兄さんはかっこいい。優しいし、頼れるし、僕は兄さんが大好きだ。

パンツと銃声が鳴る。その時兄さんは初めて狙った部分にあてた。

「玲羽！見たか!？」

「やったね兄さん!!」

僕はとび跳ねて喜ぶ。不器用な兄さんの努力が実ったのだ。

「すごいじゃないか。栄羽。」

ちようど父さんが見ていたようだ。

「父さん!!俺頑張ったよ!!」

「そうだよ!兄さんすつごく頑張ってたよ!!」

「どれ、玲羽も撃ってみたらどうだ。」

僕は基本を手短に教わり、ダーツの的に向ける。

一発目。銃弾は的にもあたらなかった。

二発目。またあたらない。

「ははは。最初はそんなものだ。」

父さんがそう言い放った後の三発目。 思えば悪夢はここから始まっていた。

銃弾は的の中心を綺麗に打ち抜いた。四発目、五発目も。全員言葉を失い、しばらくその場には沈黙がひろがった。

「す、すごいな玲羽!!」

沈黙を破ったのは父さんだった。

玲羽には才能があった。反射神経・運動神経・判断力・勘。 何より賢くて器用だった。

玲羽が栄羽を surpass するにはそう時間はかからなかった。

だんだん父さんは僕ばかり相手するようになった。

練習場にはもう兄さんの姿はなかった。

あの日から一年ほどたっただろうか。

「あ 兄さん!」

階段を下りてくる兄さんに僕が話しかけた。

兄さんの口数はぐーんと減っていた。

「ねえ、また練習しようよ。」

「。。。。」

「僕、一緒に練習し「うるせえ!!」

兄さんは僕を睨み、足早に去っていった。

あんなに怖い兄さん、初めてみた。

・・・正直、腹がたった。

それから僕も兄さんに話しかけなくなった。

兄さんは部屋にこもるようになった。

あの仲の良い兄弟と大好きな兄さんはどこにもいない。

あんな兄さん大嫌いだ。

「ただいま。」

僕が塾から帰ってくると、父さんと母さんは何かを見つめ、楽しそ



「だまれ！……！」

「こんなことしたって……！解決しない……！」

「だまれだまれだまれええええ……！」

ズドン。

嗚呼、運命とは、いかに残酷なものなのだろうか。

銃弾は見事に兄さんの左胸を撃ち抜いた。

つづく

## 兄弟と運命（後書き）

改めまして猫柱です！

読んでくれた方・・・いるかなあ・・・？

感想や意見など頂けたら嬉しいです！・・・！気軽にどうぞ！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0540v/>

---

Fate Color

2011年10月9日11時06分発行